

(1) 企業の部

(2) 一般の部

受付
番号

62

ふりがな	ねつかそせいえらすとまーじゅしによるすべりどめかこう		
作品の名称	熱可塑性エラストマー樹脂による滑り止め加工		
ふりがな	まるわけみかるかぶしきがいしゃ	ふりがな	きだ ひろひさ
会社名	丸和ケミカル株式会社	発明者名	木田 博久

(特許)・実用・意匠 の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願	(出願)・公開番号	登録番号	外国特許他
	<input checked="" type="checkbox"/> 出願済み			

特徴と要点 (必ずご記入下さい)

プラスチックダンボールなどPP(ポリプロピレン)材には、滑り止め用の樹脂加工が困難であったが、当社では熱可塑性エラストマー機による滑り止め加工技術の確立により、プラダンへの滑り止め加工や、マットなどの既成品への滑り止め後加工を実現しました。

熱可塑性エラストマー樹脂を加熱すると溶融し流動性を与えます。これを被着物に塗布すると常温ですぐに固化し、滑り止め機能を付加することができます。

【特徴】

- ・塗布後の樹脂はすぐに固化するため、乾燥工程を必要とせず、加工が省力化
- ・樹脂は再加熱により再利用が可能のため、無駄なく使い切り、廃棄物が出ない
- ・オレフィン系や合成ゴムなど樹脂の種類を変えることで、様々な素材に対応
- ・ハニカムなどの網目状、起毛のある繊維、凹凸のある被着物など多様な表面形状に対応
- ・加工時に被着物への加熱時間が短いため、繊維製品などへの縮みの心配がなく、素材に優しい
- ・被着物の表面に全面塗布するため、強力な滑り止め効果を発揮
- ・滑り止め加工後の製品は、樹脂が床など接地面へ移行しにくいいため、安心して使える

(マットなどの滑り止めに使われている塩ビやアクリル樹脂は長期間の利用では床などへ移行したり、天然ゴムによる樹脂加工品は劣化の恐れがある)

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

加工例 プラダンの滑り止め加工



オレフィン樹脂使用(PP,アクリル,合皮等)

加工例 保育園のフロアマット滑り止め加工



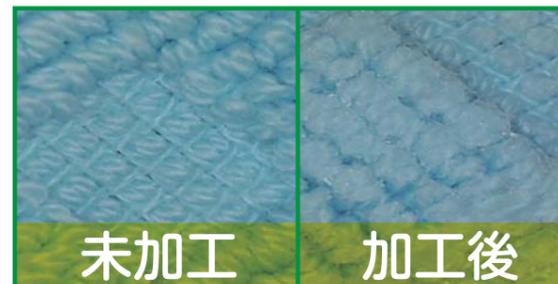
合成ゴム樹脂使用(繊維製品、不織布等)



耐洗濯性も高い

バスマット滑り止め後加工

バスマット拡大写真



起毛に合成ゴムがしっかり付着(写真右)



基材：不織布 / 片面加工

床の養生シート



基材：不織布 / 両面加工

荷崩れ防止スベリ止め

熱可塑性エラストマー加工機

(不織布などの連続ロール、マットなどの平板の双方に対応)



記載注意事項

1. 審査時は、この説明書が添付資料となりますので記載が不明確な場合は審査にもれることがあります。
2. 従来のも (或いは方法) に比し、どこを (何を) どのように発明・工夫したか、要点を判り易く、図を用いた方が判り易い場合は図面 (略図でよい) でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。